

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ理念

顧客を創造し社業発展進歩を図り社会に貢献する

連結売上高
329億円

連結営業利益
30億円

営業利益率
9.1%

ROE
12%以上

② 中長期の経営戦略

1. 新規事業の創出

DX関連商品・サービス拡充、FF&Eを活用した常設オフィスソリューション拡大、ICTアライアンスパートナー拡大

3. 人的資本の充実

人事制度再構築、教育体系整備、誰もが働きやすい環境・風土の醸成

2. 経営基盤の強化

物流のDX推進、AIを活用したスマートロジスティクス最適化、バックオフィス業務の簡素化・デジタル化

4. 市場軸での拡大

常設オフィス向けの拡大を重点戦略として掲げ、市場シェア拡大を推進

③ 対処すべき課題

① 収益性の向上

- ・ 原材料費・エネルギー費用の増大と人件費増加への対応
- ・ DX推進による業務効率化で急激なインフレに対応
- ・ 付加価値向上により適正な価格転嫁を推進

② 新リース会計への対応

- ・ 2027年4月強制適用の新リース会計基準への対応が必要
- ・ 短期・少額レンタルを活用し『所有から利用へ』を訴求
- ・ トータルソリューション提供で新たな需要創出

③ 中期経営計画への対応

- ・ 物流DXによる省人化・生産性向上を2026年度より推進
- ・ DX人材の確保・育成強化が急務
- ・ 2026年度から新たな人事制度構築を開始

面接で使えるポイント

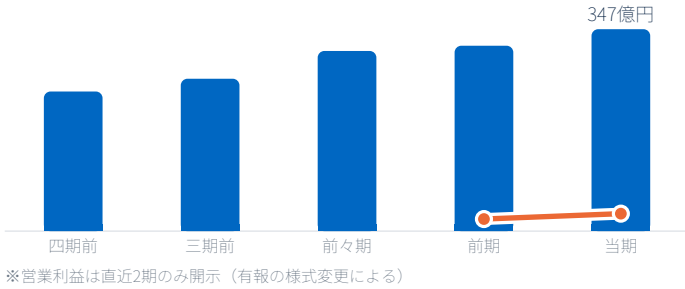
- ・ 2024年開始『Next Evolution 26』で2026年度に売上329億円・営業利益30億円を目指す成長戦略
- ・ FF&Eとトータルソリューション提案で2027年新リース会計基準の市場変化を機会に転換
- ・ AIを活用した物流DXと人事制度再構築で、労働人口減少下での持続的事業発展を実現

コーユーレンティア株式会社

サービス業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 12月末…

証券コード 7081

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高 347億円	営業利益率 8.7%	財務健康度 63点 / 100点
----------------	---------------	---------------------

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
598万円

サービス業内 251位/524社

平均年齢
41.5歳

サービス業内 149位/527社

平均勤続
14.5年

サービス業内 43位/527社

女性管理職
1.1%

サービス業内 365位/371社

男性育休
75.0%

サービス業内 170位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ワイドフレンズ株式会社がコーユーレンティア株式会社<7081

コーユーレンティア株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

